



「SSH米国（サイパン・グアム）海外研修」を開催しました

将来、国際的に活躍し得る科学技術人材の育成のための取組の一つとして、英語コミュニケーション力と国際感覚の育成を図るため、今年度から「SSH米国（サイパン・グアム）海外研修」を実施しました。理数科2年生10人が、事前学習の上、1月7～10日の日程で参加しました。



サイパンサザンハイスクールでは、課題研究についての英語プレゼンテーション、理科や数学の授業受講、サイパンサザンハイスクールの生徒による統計データに基づく探究活動（数学の授業の一環）についてのプレゼンテーション聴講等を実施することができました。

グアム大学では、グアムにおけるサンゴ礁の保全活動等についてのレクチャー受講、大学生等への有明海沿岸における水質環境についての英語での説明、グアムの植生や海洋環境の保全についてのフィールドワークに取り組むことができました。

本研修を通して、日々の学習や自分にとっての研究活動の意義を見つめ直す契機となったかと思えます。この経験を今後の学びに生かしていくことを期待しています。

参加者の感想

- 「研究とは、社会に何かしらを還元できるものでないといけないと再認識しました。これからは、ただ学ぶのではなく、その先を広く考える視野の広さを持ちたいと思います。」
- 「分からないことがあれば理解できるまで質問することや積極的な姿勢、英語を聞き取り理解し、その場で質問できるくらいの英語能力の必要性を感じました。」
- 「異国の地で見たり聞いたり触れたりしたことは全て新鮮で、自分の価値観を変え、新しい発見につながった。多様な視点を持って、これからも勉学に励み、人との交流を大切にしたい。」
- 「感じ方や考え方、生活も文化も雰囲気も何もかもが違った環境で学習できたことは、大いに刺激のある経験になったので、この経験を生かしていきたいと思いました。」
- 「高校訪問では、韓国や中国、タイなどの出身の生徒も多く、英語と母国語、さらに日本語も勉強して話せていた。大学に入ってから、留学生と積極的に交流したり、海外にたくさん行ったりしたい。」